

「Society 5.0 の国際発信」に関わる情報発信事業開催場所の公募要領

令和2年1月7日

1. 「Society 5.0 の国際発信」の趣旨と目的

内閣府では、第5期科学技術基本計画（計画期間2016～2020年）に基づき、科学技術・イノベーションによる「超スマート社会 Society5.0」の実現に向けた政策を推進しているところです。2020年（令和2年）は、第5期計画の最終年として、日本発の科学技術・イノベーションを世界に発信していく絶好の好機と捉えています。

このことから、イノベーション先進国としてイノベーションにより社会・経済・生活の質が向上し便利で快適になった姿、さらには人々に豊かさをもたらす未来社会の姿（Society 5.0）を目に見える形でアピールするため、情報発信のための展覧会を開催する予定としています。特に、令和2年夏季には東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることから、世界各国より3万人のメディアと1000万人の来訪客が予想されています。これらの方々をはじめ広く国民の皆さまに対して、事業開催を通じた直接の情報発信により、現在の社会をどのような科学技術・イノベーションを活用して改善を図っていこうとしているのかを伝えていくことを目指しています。

本事業については、国の主催により、研究機関や企業等の参画を得て実施することを予定しています。映像、パネル、実機の展示等により、どのような最新の科学技術が使われているのか、また研究開発された科学技術により具体的にどのようなイノベーションを起こそうとしているのか等について、わかりやすく紹介します。実際に触れて、動かして、聞いて等、来訪者が直接体験することができる展示に配慮し、未来社会の姿の一端を五感にて体感していただきながら理解を深めていただくことを目指しています。

この度は上記事業の開催※にあたり、事業効果を最大限に発揮できるよう、開催場所を広く募集します。

※本件は、政府が令和元年12月20日に閣議決定した令和2年度当初予算案に盛り込まれている事業に関するものであり、事業実施には当該予算案の国会での可決・成立が前提となります。

□参考

*1：Society 5.0 とは https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html

*2：Society 5.0 「科学技術イノベーションが拓く新たな社会」
https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/society5_0.pdf

2. 公募内容

(1) 公募について

情報発信事業開催場所を募集します

(2) 募集期間

令和2年1月7日(火)～1月20日(月)

(3) 提出期限

① 提出期限：令和2年1月20日(月) 12:00 必着

② 提出方法：持参／郵送／e-mail のいずれか

※e-mailの場合は、別途原本を1月21日(火) 12:00 必着で送付

(4) 提出先

① 持参・郵送：東京都千代田区永田町 1-6-1 中央合同庁舎第8号館6階611 扉

内閣府 政策統括官(科学技術イノベーション担当) 付

社会システム基盤担当 延原・平島

② e-mail：メールアドレスについては、内閣府共通意見等登録システム

<https://form.cao.go.jp/cstp/opinion-0424.html>

よりお問い合わせ下さい。PDF 提出

(5) 応募に関する諸条件等 ※以下の条件をすべて満たすこと

① 応募資格者

1) 施設所有者もしくは施設管理者 ※施設は自治体・民間のいずれでも可

2) 以下に該当する者でないこと

i 反社会的勢力である者

ii 反社会的勢力との間に過去・現在又は直接・間接を問わず、取引、金銭の支払い、便宜の供与その他一切の関係又は交流がある者

iii 反社会的勢力に属する者又は反社会的勢力との交流を持っている者が役員に選任され、従業員として雇用され、又は経営に関与している事実がある者

② 応募条件 ※以下の条件をすべて満たすこと

1) 場所：東京 23 区内

2) 日程：令和2年7月上旬から約60日間(含む搬入・施工・実施(55日想定)・撤去)

3) 面積：およそ2000㎡以上(場所が1ヶ所であればフロア分割も可)

(6) 提出書類

応募書類の別紙1(様式①)及び別紙2

3. 選定方法と結果通知等

1) 選定方法

- ① 内閣府において外部有識者を含む審査会にて選定
- ② 選定の評価ポイント
 - 1) 場 所：上記2.(5)②に示す応募条件の3項目を満たしていること
 - 2) 交 通：公共交通機関とのアクセスの利便性
※東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催期間中において
できる限り交通混雑等による影響を与えないこと
 - 3) 費 用：借料経費(概算額)
 - 4) 実 績：提案場所における過去のイベント等の開催や来客の実績
 - 5) その他：上記以外で提案としてアピールしたい事項等

2) 結果通知

審査会での選定後、事務手続きを経て応募者に対して文書により通知

3) その後の手続き

契約等については、内閣府より別途業務発注を予定の本事業の実施委託先を想定

4. 問合せ先

内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当) 付
社会システム基盤担当 延原・平島
電話：03 - 6257 - 1335(直通)

【応募書類】
「Society 5.0 の国際発信」に関わる情報発信事業実施場所

令和 2 年 1 月 __ 日

内閣府 政策統括官(科学技術・イノベーション担当) 行

応募者 { 住所: 〒 _____
 { 所属: _____
 { フリガナ: _____
 { 氏名: _____ ④

「Society 5.0 の国際発信」に関わる情報発信事業実施場所について、以下のとおり提案する。

1 事業実施場所 (名称等) :

2 事業実施場所の住所:

〒 _____ - _____ _____

3 応募担当者

事務担当者名 (所属・役職も記入)		
連絡先	Tel/Fax	() _____ - _____ (内線: _____)/() _____ - _____
	E-Mail	_____ @ _____

様式自由 ただし、以下の内容を分かりやすく明確に示すこと

1. 提案場所が東京 23 区内であること
2. 令和 2 年 7 月上旬から約 60 日間、提案場所が確保できる見込みであること
3. 2,000 m²以上の展示スペースが確保できること
4. 具体的な展示スペースの状況（屋内外の区別や動線等を含む）
5. 提案場所と公共交通機関等との位置的关系性
6. 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の競技会場との位置的关系性
7. 提案場所を使用する場合にかかる費用の概算とその根拠
8. 提案場所における過去のイベント等の開催状況や来客の実績

注 1：提案書の記述は自由記述とします

注 2：記載内容を満たしていればパワーポイント等を使用した記述で A4 縦・横も可能です

注 3：地図等については、別紙として大判の資料を添付することも可能です。

注 4：様式①と提案書に加えて、施設の概要がわかる資料（パンフレット等）を 4 部提出下さい